

ここが大好き



【学校教育目標】
夢におかっ 今キラリ
 -なかよく・かしこく・すこやかに-
 令和6年8月22日
 大仙市立南外小学校

夏の思い出をたくさん抱えて 前期後半スタート

夏休みが終わり、昨日から前期後半が始まりました。普段よりも大きな声であいさつをする子どもたちが多く、友達や先生方との再会を心待ちにしていた気持ちが伝わってきました。そんな子どもたちのやる気と笑顔に、たくさんの元気をもらいました。



子どもたちの夏休みの生活はいかがだったでしょうか。日焼けした子ども、背が伸びた子ども、少し大人びた感じがする子ども。一人一人が32日間を無事に過ごし、元気に登校できたことを何よりもうれしく思います。家庭や地域の皆様が子どもたちを見守ってくださったおかげです。ありがとうございました。

前期後半も引き続き、日々の授業や行事等への取組の中で、一人一人のがんばりを認め、確かな力となるよう指導していきます。今後とも学校へのご理解、ご支援をお願いいたします。

学校運営協議会 “熟議” どんなふう to 育てほしいですか？

7月19日、今年度2回目の学校運営協議会が開かれました。今回行われた”熟議”とは「多くの当事者による『熟慮』と『討議』を重ねながら政策を形成していく」ための場とされています。当日は学校運営協議委員の方々だけでなく、南外小中学校のPTA研修部の皆様、全教職員等も参加し、「南外の子どもたちをどう育てたいか」をテーマに話し合いました。

はじめに一人一人が自分の思いをグループ内に伝えて意見交換し、さらに別のグループを作って話題を広めるとともに、自分の考えを深めるようにしました。会の締めくくりには、熟議

の中で心に残った言葉を選び、そのために自分ができることに思いを巡らせました。キーワードには”南外LOVE”が挙げられました。



教育委員会訪問

成長ぶりを見ていただきました

大仙市教育委員会の伊藤教育長をはじめ、教育委員や教育委員会事務局の方々が来校し、授業の様子などを参観されました。子どもたちは、たくさんの参観者がいることで緊張した様子でしたが、授業に集中し、意欲的に課題に取り組んでいました。教育委員会の皆様からは、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。いくつか紹介いたします。

- ・子どもたちが落ち着いて授業に参加している。低学年でも、友達の発表を受けて話ができる子どもが目立った。
- ・高学年では難しい課題に正面から向き合せていた。学びに向かう力が備わっており、協働して解決しようとする姿が見られた。
- ・子どもの姿がすべてである。一人一人の子どもが、授業中のいずれかのタイミングで表情が変化する授業を目指してほしい。



授業参観に先立って、子ども読書貯金の教育長表彰が行われました。賞をいただいたのは5年生の〇〇〇〇さんです。今回は500冊を達成し、受賞となりました。おめでとうございます。教育長からも、市長表彰を目指してがんばるよう、励ましの言葉が贈られました。



聡子先生 おめでとうございます！ 県学校保健表彰 受賞

このほど、本校養護教諭：佐藤聡子先生が、これまでの実践が認められ、秋田県教育委員会より学校保健表彰の功労者として表彰を受けました。おめでとうございます！

聡子先生には、子どもたちの日常的な健康管理はもちろんのこと、学年に応じた保健指導や食育指導、さらには相談活動と、幅広くお力添えをいただいております。今後も、南外の子どもたちが健やかに成長できるよう、これまでの経験を生かしながら指導にあたっていただきたいと思います。もちろん、健康で！

